

青木ヶ原樹海等エコツアーガイドライン推進協議会



24 団体が出席した協議会

12月14日(木)、民間のエコツアー事業者、関係行政機関、学識経験者でつくる**青木ヶ原樹海等エコツアーガイドライン推進協議会**が開かれました。

協議では、各構成団体からガイドライン遵守状況についての報告が行われた後、ガイドラインの見直し・改訂について検討が行われました。そこでは、1団体あたりのエコツアー参加人数とガイド数の割合、ガイドラインの周知・普及方法などが重点的に話し合われました。また、山梨県環境科学研究所が取り組んでいる「青木ヶ原樹海での環境モニタリングシステム構築に関する研究」については、富士風穴周辺のコケの被度調査(地表面を被っている度合いと踏圧の関連)等の状況が中間的に報告されました。

協議会には今年、新たに三つのエコツアー事業者が加わり、今後も民間事業者、行政が一体となった活動が継続されます。

● 富士山青木ヶ原樹海等エコツアーガイドライン ●

青木ヶ原樹海等の自然環境を保全するため、適正かつ持続的な利用を図ることを目的として、エコツアーを実施する事業者や団体、自然を楽しむエコツアー参加者などにルールやマナーを守っていただき、質の高いエコツーリズムを推進するための指針。

富士北麓市町村等の富士山関連事業 その6

～富士山と古里をみんなで守る！ 鳴沢村～



タイヤを水洗いする参加者

うちの 2,000 本を撤去しました。

1日目には、村の建設業者からなる同村振興協議会など12名が現場からタイヤを運び出し、2日目には、地元住民、小中学生、村内の建設業者、県カーリサイクル共同組合員、村役場職員など約60名が、タイヤをリサイクルに出すための水洗い、トラックへの積み込み作業を行いました。参加した中学生の感想は、「自分の村がきれいになるのでうれしい、いい気持ちができる」と、充実した様子。村では、今後も、残りのタイヤ2,000本の撤去に向けて活動を継続していくとのことです。

山小屋の取り組み～吉田口環境保全推進協議会

12月13日(木)、吉田口登山道の山小屋経営者により構成される富士山吉田口環境保全推進協議会が開催されました。同協議会は、平成14年度に発足し、環境配慮型トイレの計画的な整備や、ゴミの適正処理や減量化などに積極的に取り組んできました。今年、全山小屋で環境配慮型トイレの設置が終わり、また、山小屋から搬出されるゴミの量も、昨年と比べ全体で1トン減少するなど、大きな成果を上げていること等が報告され、今後も取り組みを継続していくことが確認されました。

● その他の活動 ●



8合目亀岩下の清掃活動の様子(7月)

日常行う山腹や登山道の清掃のほか、年に何度か、山小屋の皆さんが一体となって、下山道や、麓の吉田口登山道の清掃も行いました。

講演会「富士山を変える」や「影富士写真コンクール」を通して、一般の方々にも富士山の環境について考えていただく企画も開催しています。



富士山登山ガイド新井裕己氏による講演会

富士山美化清掃活動(12月)

～富士山や周辺地域で行われた美化清掃活動紹介～

日付	主催、イベント名	人数	活動内容
11/25～	鳴沢村	のべ	村内一斉清掃と環境パトロール
12/24	村内クリーンアップ大作戦	250	
12/9	NECフィールドイング株式会社	30	河口湖畔清掃
12/15	西桂町をきれいにする会	30	西桂町役場を中心に町中を清掃 可燃物 20kg 不燃物15kg 資源ごみ35kg回収

